

# 平成29年度学校自己評価システムシート（県立大宮光陵高等学校）

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身につけ、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 組織的な教科指導のもとに生徒の自主的な学習姿勢を育て、確かな学力と専門的な能力の向上を図る。</li> <li>2 計画的・系統的な進路指導を推進し、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。</li> <li>3 芸術活動、国際交流事業等を充実させ、豊かな情操、主体性、協調性、創造性を育む。</li> <li>4 基本的生活習慣を確立させ、特別活動・部活動などを通して自主的・自律的な精神を養う。</li> <li>5 家庭、地域等との連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	6名
	事務局（教職員）	10名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 5 日 現 在 )			実施日	平成 30年 2月 16日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	(現状) 授業アンケートを実施し、授業改善に生かしている。シラバスを生かし計画的・自発的学習を促している。協調学習を含めた授業研究を行っている。自習室を朝と放課後に開放し、自主的な学習を促している。 (課題) 生徒の家庭での学習時間を増やす。協調学習やアクティブラーニングの各教科での研究を促す。	指導力を向上し、生徒の自主的な学習習慣を向上させる。	①授業アンケートを実施し、授業改善に生かす。 ②シラバスの効果的活用により、生徒の自主的学習を促す。 ③生徒の家庭での学習習慣を促す。 ④協調学習やアクティブラーニングについて各教科で研究する。 ⑤自習室設置を継続し、利用を呼びかけ、自主学習を促す環境を整備する。	①授業アンケートでの生徒・保護者の授業（教科指導）満足度。 ②③生徒の家庭学習時間、学習習慣の定着度。 ④研究・研修の実施状況、生徒・保護者の授業（教科指導）に対する満足度。 ⑤自習室の利用状況。	授業アンケート、シラバス活用、協調学習の実践により、指導力の向上や生徒の自主学習の向上を促した。 ①授業アンケートの満足度は 84.2%で高い数値を保っている。②③シラバスを生かし計画的・自発的学習を促した。④協調学習を含めた授業研究を行った。⑥朝と放課後に自習室を開放したが、利用者は減少している。	B	授業アンケート、シラバスの実施を継続する。教科指導の充実を図る取り組みを学校全体で進めていく必要がある。協調学習やアクティブラーニングについて各教科での研究をさらに進めていく。自習室の開放を継続する。生徒の自主的な学習姿勢をいかに育てていくかが課題である。	達成状況のなかで「減少」という言葉が多いのは、家庭環境が大きく影響していると思われる。中学でもアクティブラーニングを積極的に取り入れながら試行錯誤している。自習室の開放については初耳であったが、更に活用させるとよいのではないかと。
2	(現状) 3年間を見通した進路指導計画表を作成し進路指導を行っている。スタディーサポートや模試を実施し、進路意識を高めている。多種多様な補講の講座を開講している。 (課題) スタディーサポートや模擬試験の検証を継続・実施し情報を共有する。補講の効果的な内容と時期を検討し実施する。保護者へ最新の入試情報を周知・徹底する方法を具体的に検討する。	3年間を見通した計画的な進路指導のもとに早期から進路意識を醸成する。	①各学年ごとに進路指導計画表を作成する。 ②スタディーサポートや模擬試験を有効活用し、進路意識を高めさせ、結果を検証して情報を生徒に提供する。 ③実力養成のための3年生進学補講を実施する。また、1・2年生の進学補講を充実させる。補講の効果的な実施を各教科に呼びかける。 ④各種進路行事、「進路の手引き」を軸とした指導を徹底し、特に1・2年生の進路意識啓発の取組を強化する。 ⑤各学年保護者会、PTA主催の進路カフェでの情報提供など保護者の進路に対する関わりを促す。	①3年間を見通した進路指導計画表が作成できたか。 ②スタディーサポート・模試の活用状況、模試結果の年間推移、生徒の進路希望状況。 ③進学補講に対する生徒の満足度。 ④⑤取組状況、生徒・保護者の進路指導・進路情報提供に対する満足度。	3年間を見通した計画的な進路指導のもとに早期から進路意識を高めるように努めた。 ①各学年ごとに進路指導表を作成した。②スタディーサポートや模擬試験を有効活用した。③実力養成のための3学年進学補講を実施し、1・2年生の進学補講も充実させたが、参加人数は減少し、満足度も減少した。④各種進路行事、「進路の手引き」を軸とした指導を徹底した。⑤各学年保護者会、PTA 主催の進路カフェで情報提供した。	B	例年実施している「大学出張講義」や「大学別説明会」など各学年の進路行事の見直しが必要である。各学期及び長期休業の補講の開講準備をもっと円滑にする。進路状況の提供や相談、補講等の取り組みについて、アンケート結果をもとに検討する。推薦入試への出願増加に伴い、推薦の為の対策が急務である。「進路カフェ」を継続し、実施時期が夏なので、実施場所を検討する。	大学受験では失敗したくないとの思いから推薦入試に向かう生徒が多くなっているのではないかと思うが、進学校である大宮光陵高校としてはもったいない。進路情報収集には、様々なメディア機器を使いこなせる必要がある。進路カフェはとても役立っている。進路について面倒見がよく、いつも生徒に寄り添ってくれたことが保護者としてはありがたかった。
3	(現状) 芸術科の活動では、校内外の発表会、展覧会等で、全国レベルの実績を残している。オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、美術科ヨーロッパ研修を成功させ、帰国報告会を実施している。 (課題) 芸術科や国際教育などホームページ（HP）等のアピールの継続が必要である。国際交流委員会を活性化させるなど生徒が関わる場をさらに積極的に設ける。	4学科1コースの良さを活かし、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させる。	①「Koryo Arts Link」事業を継続すると共に、活動を広くHPなどでアピールする。 ②校内外の発表・展覧会等を充実させると共に、その成果を広くHPなどでアピールする。 ③オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修、音楽科ヨーロッパ研修を成功させ、その成果を全校生徒に報告させ共有する。 ④生徒の国際交流委員会を活性化させる。 ⑤上記の活動の中に、生徒の主体性を育むために、生徒が関わる場を積極的に設ける。	①事業の実施状況、活動のアピール状況。 ②校内外の発表・展覧会等の成果、HPでの掲載状況。 ③各研修の実施状況とその成果。 ④委員会の活動状況。 ⑤各活動において生徒が果たした役割、活動状況。	「Koryo Arts Link」事業を継続し、芸術教育、国際理解教育をさらに充実させた。 ①今年度も全国レベルの実績を残した。また、その成果をアピールした。③④⑤オーストラリア姉妹校訪問、書道科台湾研修を成功させた。音楽科ヨーロッパ研修も事前指導等準備をすすめている。国際交流で各クラスの国際交流委員会の生徒が主導した。	A	各方面との連携や交流を積極的に図り、本校の芸術活動への理解と支援を求めながら、生徒に有益な体験を多くもたらす活動を考えていく。姉妹校訪問以外の継続的な交流方法を検討すべき時期にきている。国際交流委員会の活動の活性化と国際交流イベントを校内で開催することも検討する。	各芸術科の発表会や展覧会など非常に素晴らしい。このまま活躍してもらいたい。書道科による読書会など地域交流が盛んである。
4	(現状) 基本的生活習慣を確立させる指導、交通安全指導、マナー向上の指導を年間を通して継続的に実施、学校生活アンケートの実施によって、いじめ実態などの把握に努めている。 (課題) バス乗車のマナーは改善されつつある。自転車運転マナーについては改善されたとは言いえない状況である。自転車の乗り方を含め全校生徒へ注意を促し、全校生徒にさらに啓発する必要がある。	規範意識の醸成と主体性を育む生徒指導を推進する。	①整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導を継続する。 ②自転車事故防止のための交通安全指導を徹底する。 ③光陵祭、スポーツ大会、予餞会などの学校行事を生徒に主体的に運営させる。 ④部活動(特に運動部)の加入増を図るために部活動見学の機会を設け、活動状況を積極的に外部に発信する。 ⑤情報交換を密にし、早期対応できるよう教育相談体制を充実させる。	①②各取組の実施状況、アンケートにおける生徒・保護者の満足度。 ③生徒が果たした役割、活動状況。 ④部活動加入率、部活動見学会の状況、HPの更新状況。 ⑤取組状況、アンケートにおける生徒・保護者の評価。	基本的生活習慣を確立させるとともに、特別活動・部活動等の充実とおして、自主的・自律的な精神を養った。 ①②整容指導、遅刻指導、登校指導、バス乗車指導、交通安全指導を行った。基本的生活習慣を確立させる指導のアンケート結果は、「行われている」がやや減少した。③④各種行事で目覚しい活躍を見せてくれた。各部活動でHPの更新を心がけた。⑤情報交換を密に早期発見に努め、迅速で適切な対応を図った。教育相談研修会を実施した。	B	社会人としてのマナーや常識を身に付け、日常生活の中での考え方や行動のあり方などを適切に指導する。朝読書・清掃・整容指導の取組をより充実させる。意欲的に努力する生徒を育て、力を伸ばし成長していける環境をつくる。アンケートなどにより現状を把握し、講演会、集会、委員会指導などを重ねて、人権を尊重し、過ごしやすい生活環境を確立できる力を育成する。	大宮光陵高校の生徒はよく挨拶をしてくれる。バス乗車についてはさほど悪いとは聞いていない。バス乗車について生徒が自分たちで何とかしなくてはという様子が校内のポスター案募集の広告で見るとれてうれしい。自転車の安全運転指導を更にしっかりと欲したい。
5	(現状) 保護者の学校に対する満足度は、高い。交流事業も関係者から好評を得ている。メール配信システムを活用し、保護者に情報を配信している。 (課題) ホームページは充実している。ホームページがより魅力的になるようにアイデアをだす。部活動のページなどに教職員が積極的に更新を行い、本校の良さを引き続きアピールする必要がある。授業公開を土曜日にするなどで来校者は増加したが、今後どのような形でやっていくか検討する。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。	①昨年度以上にHPの更新を行い、本校の良さを積極的にアピールする。 ②メール配信システムを積極的に活用し、保護者に適切な情報提供を行う。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の宣伝を積極的に行う。 ④地域との交流事業を積極的に行い、地域との連携を深める。 ⑤学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など生徒募集活動を積極的に行う。	①②HPへのアクセス数、メール配信状況、生徒・保護者の学校に対する満足度。 ③光陵祭、授業公開、公開講座等外部向け行事の参加者数及び関係者の評価。 ④交流事業の活動状況、関係者の評価。 ⑤取組状況、説明会の参加人数。	本校の良さを積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進した。 ①②毎日、トップページの更新がされることで光陵の活動をより理解してもらえるようになった。情報管理部の協力によって、行事・部活動等の更新がスムーズになった。 ③光陵祭、授業公開、公開講座など実施し、参加者の好評を得た。④植水小学校との交流事業は今年も好評を得た。⑤学校説明会、中学校訪問、中学校や塾等での説明会など積極的に行った。	A	本校の魅力を発信するための方法を具体化する。普通科の学校説明会を年4回開催したが、さらに改善すべきことがあるか検討する。授業公開の土曜実施（午前授業公開、午後説明会）について検討する。普通科の体験授業等の開催について検討する（芸術科は、既に実施している）。ホームページがより魅力的になるようにアイデアをだす。	地元地域の方から多くの情報が入ってくるが、大宮光陵高校の名を良い意味で聞く。ホームページを見ると学校の様子が良く分かりとてもよいと思う。